

花巻市博物館特別展 ひかる 光ミュージアム所蔵「美を競う 肉筆浮世絵の世界」が開催中

～ 4月24日から6月6日まで、北斎、広重、国芳ら人気絵師の「直筆の一点もの」111点を一挙初公開 ～

江戸中期頃から明治期までの人気絵師たちの手による、華麗な衣装や文様、髪の毛一本一本まで描いた、優美で濃密な一点ものの肉筆画です。彫師、摺師の手を経て制作されたきらびやかな多色摺木版画の錦絵とはまた違った魅力があります。

今日まで大々的に公開されることのなかった、光ミュージアムの肉筆浮世絵コレクションの中から、厳選された貴重な111点を展示します。

特別展 光ミュージアム所蔵「美を競う 肉筆浮世絵の世界」の概要

- 開催期間 令和3年4月24日（土）から6月6日（日）まで
午前8時30分から午後4時30分
 - 開催場所 花巻市博物館企画展示室
 - 入館料 小・中学生200円（100円）／高校生・学生400円（300円）／一般600円（500円）
※常設展と共通、20名以上の団体は（ ）内料金
※花巻市、遠野市の小・中学生はまなびキャンパスカードの掲示で無料でご覧いただけます。
（小学生は同伴者1名も無料です。）
 - 特別協力 光ミュージアム
 - 監修 鈴木浩平（美術史家）、故・永田生慈（美術史家・北斎研究家）
 - 企画協力 有限会社アートシステム
 - 関連事業
 - ◆学芸員によるギャラリートーク
日時：令和3年4月29日（木・祝）
5月9日（日）
午後1時30分から2時
場所：企画展示室
定員：10名程度
※申し込みは不要ですが、入館料は必要です。
 - ◆ワークショップ
「浮世絵ぬり絵」
日時：令和3年5月16日（日）
午後1時30分から3時
場所：講座体験室
定員：15名
材料代：700円
※申し込みが必要です。
- ◆記念講演会「肉筆浮世絵で味わう美人画の魅力」
日時：令和3年5月23日（日）
午後1時30分から3時
講師：鈴木浩平氏（美術史家／本展監修）
場所：講座体験室
定員：最大30名
※聴講は無料ですが、申し込みが必要です。また、新型コロナウイルス感染症対策のためオンライン講演に変更する場合があります。

8. 展示概要

第1章

肉筆浮世絵の展開

江戸の浮世絵が定着し始めた17世紀後半から18世紀後半までの著名絵師の作品で、この年代の特徴を概観します。

第2章

百花繚乱・多彩な作品群

葛飾北斎、歌川豊国、歌川広重、歌川国芳らの幕末の多彩で華やかな肉筆浮世絵の世界を概観します。

第3章

上方と地方で描かれた肉筆浮世絵の展開

京・大坂を中心とした上方と、名古屋や九州で描かれた肉筆浮世絵を比較し紹介します。

※入館の際は、所定の用紙への氏名・住所・連絡先、健康状態のご記入にご協力をお願いいたします。また、新型コロナウイルス感染症対策のため、入場制限をお願いする場合があります。さらに、感染状況により、開催を中止することもありますのでご了承ください。

《参考》肉筆浮世絵とは？

多色摺木版画の錦絵は、浮世絵師、彫師、摺師の分業体制により制作されます。肉筆浮世絵は、浮世絵師が、自らの手によって直接紙等に絵を描く、一点ものの絵画作品です。

肉筆浮世絵にみられる浮世絵師の確かな画力がなければ、浮世絵が江戸時代の日本を代表する絵画作品として、ヨーロッパをはじめアメリカで芸術価値が認められることはなかったといっても過言ではありません。